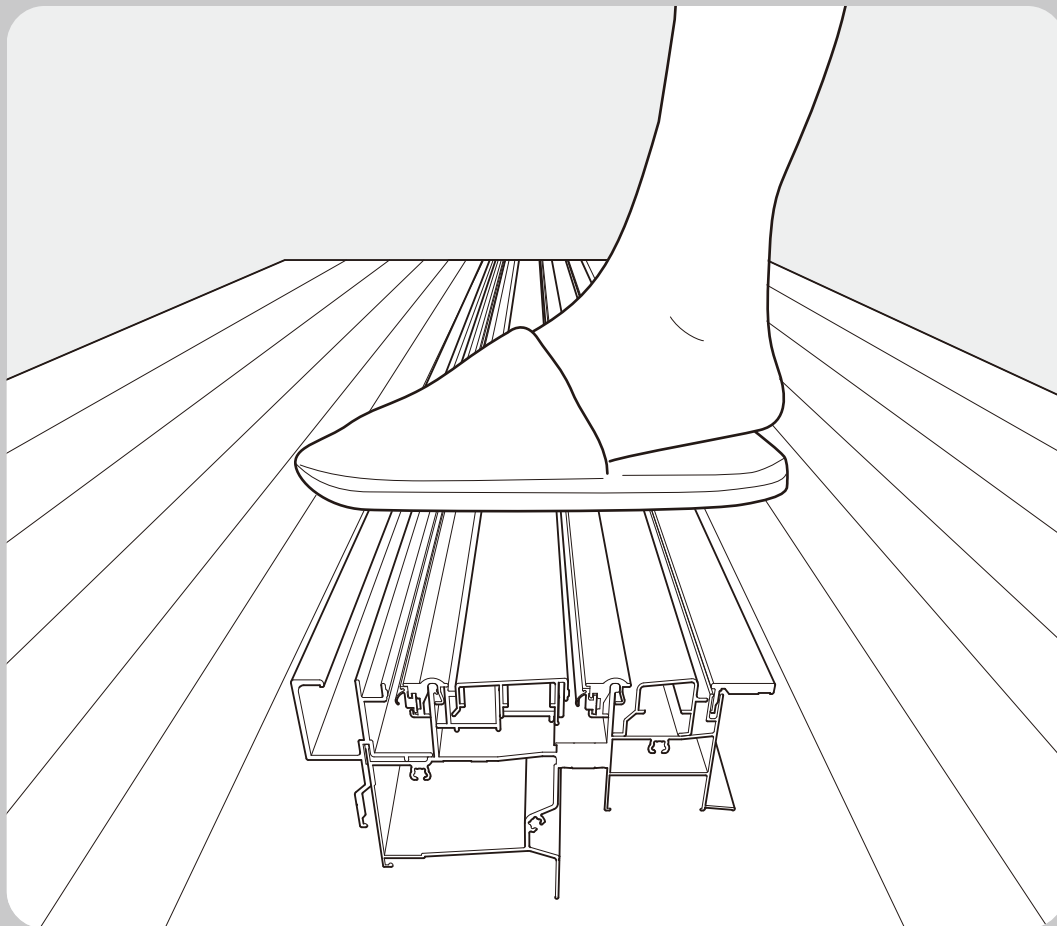


引違い窓(フラットタイプ)

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは「引違い窓(フラットタイプ)」のご使用及びお手入れを行わないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中にご不明な点や、お手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

目次

■目次	1
■重要なお知らせ	1
■安全について	2
■安全のため特に注意していただきたいこと	2・3
注 意	2
お願い	3
■下枠のお手入れ方法	4～9
■サッシのお手入れ方法	10～11
■商品保証について	12

重要なお知らせ

ご使用の前に

- 安全のために必ずお守りください。

「引違い窓(フラットタイプ)」のご使用及びお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もし、この取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によって、ケガ及び損害が発生した場合は、当社及びその販売会社に責任はないものとさせていただきます。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って、「引違い窓(フラットタイプ)」のご使用及び、お手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.この取扱い説明書についての質問又は、より詳しい情報が必要な場合は、以下の窓口にご連絡してください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	 0120-413-433

安全について

※この章では、「引違い窓(フラットタイプ)」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
▲注 意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

安全のため特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

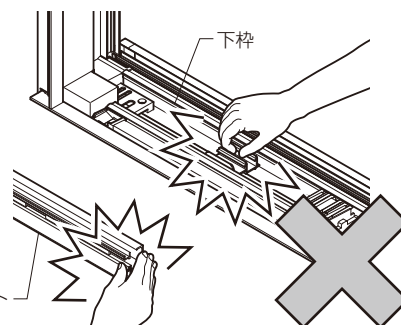
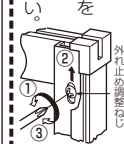
▲注 意

- お手入れなどのために障子をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従って、はずれ止め部品を必ずかけてください。4枚建ての場合は、内障子を建込む前にはずれ止め部品をかけてください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 窓・網戸の開閉は、周囲に人がいないことを確認し、引手やハンドルを持ちゆっくりと行ってください。指などの身体を挟まれケガをするおそれがあります。
- 指を挟んだり、思わぬケガや事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・窓(網戸)の開閉時に、窓(網戸)と枠、窓(網戸)と窓(網戸)のすき間に手や足を置かないでください。
 - ・窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。
- 風の強い時は窓を閉め、必ずロックしてください。ロックしないと、風の力で窓が急に開閉し、その衝撃で破損や落下が起こり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- アタッチメントのカドや下枠内部の部品に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

表示ラベル例

▲注 意

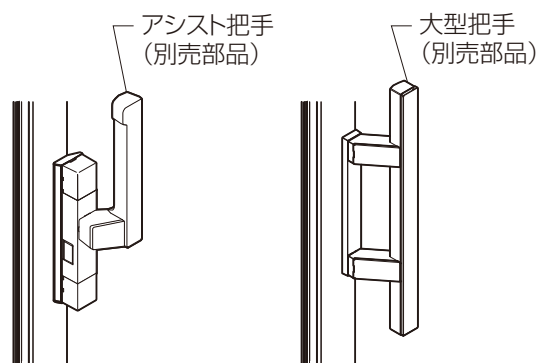
外れ止め調整ねじを上げすぎると障子が落下するおそれがあります。①ねじを2回転ゆるめ、②障子の開閉に支障のない範囲で上げ、③締め直してください。



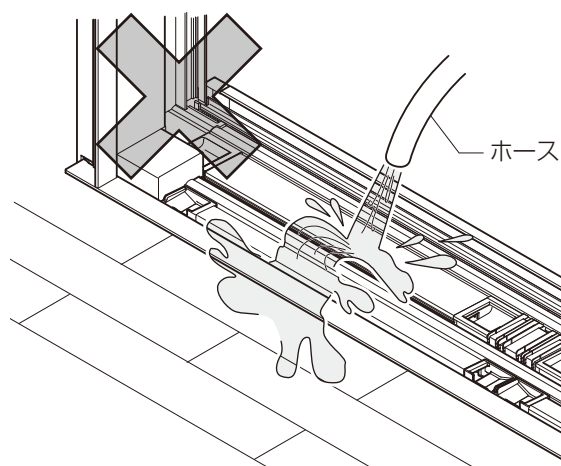
お願い

- ボルト・ナット・ねじなどは絶対にゆるめないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。

- 障子のハンドル、把手に物を掛けたり、ぶら下がったりしないでください。



- 下枠を水で洗い流す際には、室内へ水があふれ出ないようにしてください。あふれ出したときは、ぞうきんなどですみやかにふき取ってください。



- ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

下枠のお手入れ方法

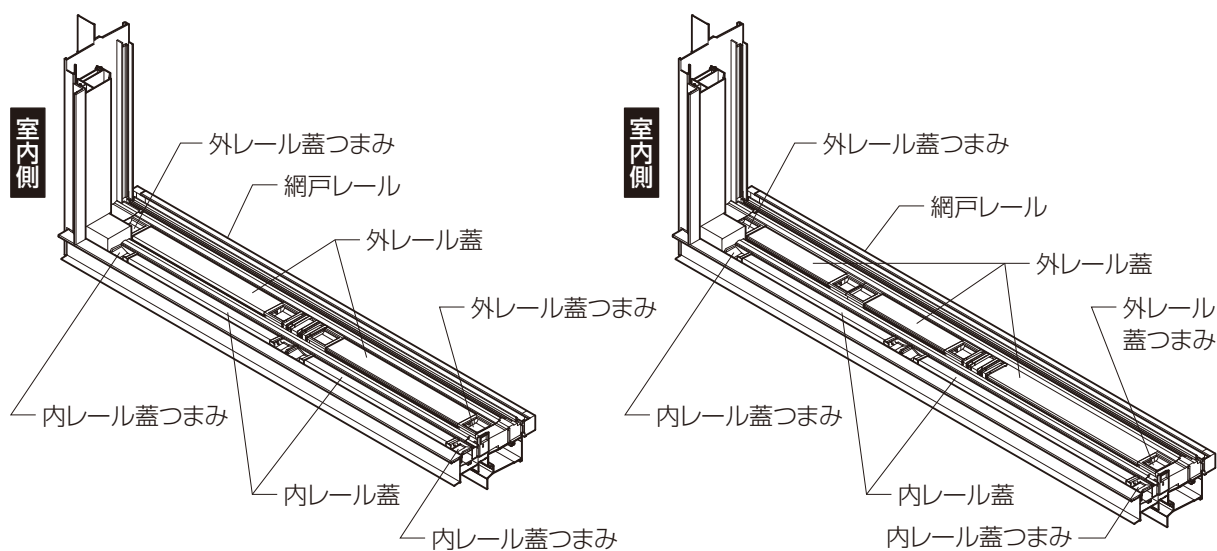
- 日常は、サッシの下枠表面をふくだけできれいになります。ただし、下枠上の水がたまったままで排水性が悪くなったときは、ホコリがたまっている場合がありますので、下記の手順に従ってレール蓋を取外し、清掃を行ってください。

1

2枚戸の場合

■各部名称図

※把手付障子の場合

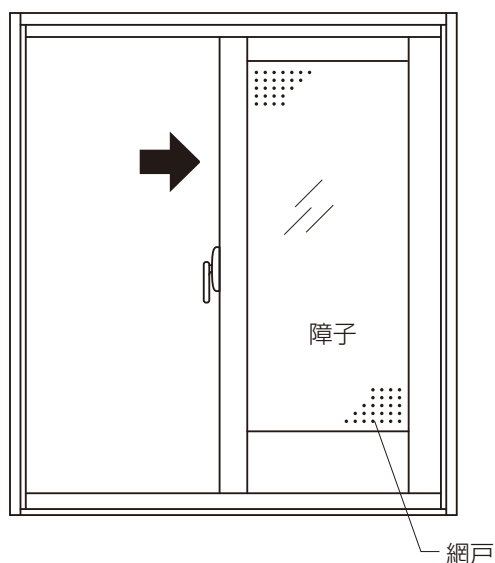


- 内レール蓋・外レール蓋を外して清掃します。

⚠ 注 意

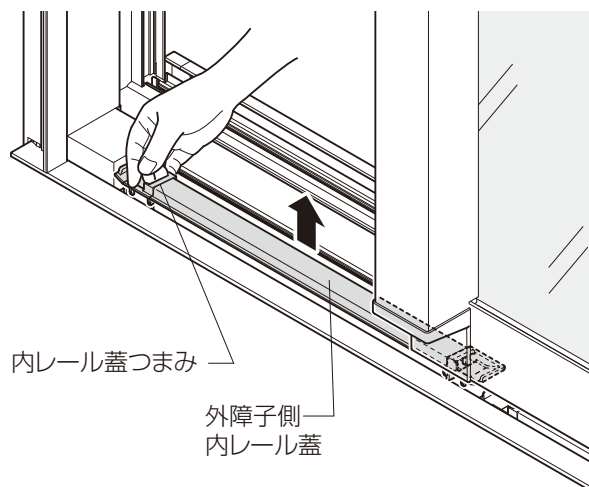
- アタッチメントのカドや下枠内部の部品に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

- ① 外障子を全開にしてください。

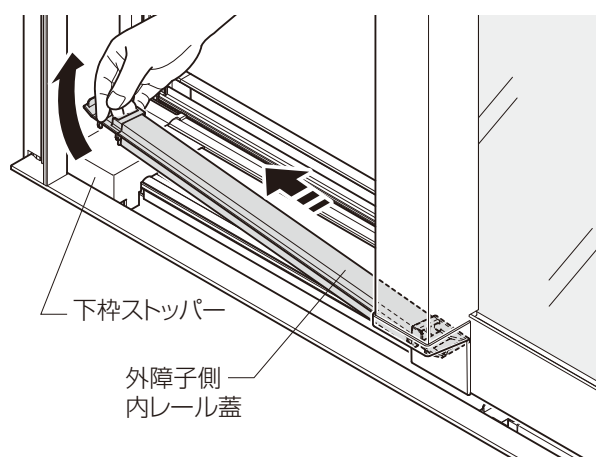


②図のように外障子側の内レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながらスライドして外してください。

●内レール蓋を持ち上げます。



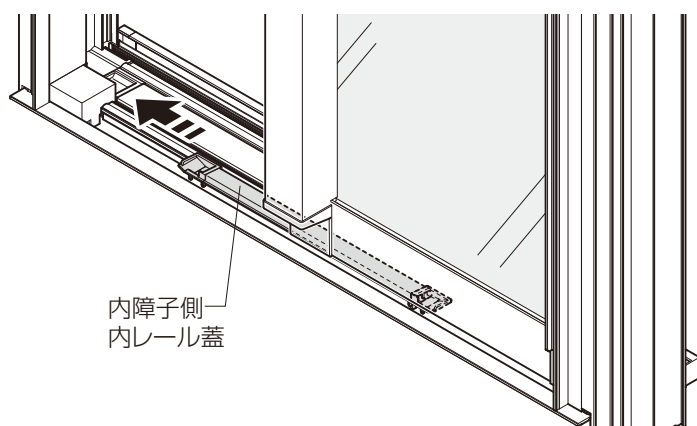
●下枠ストッパー側にスライドさせながら外します。



お願い

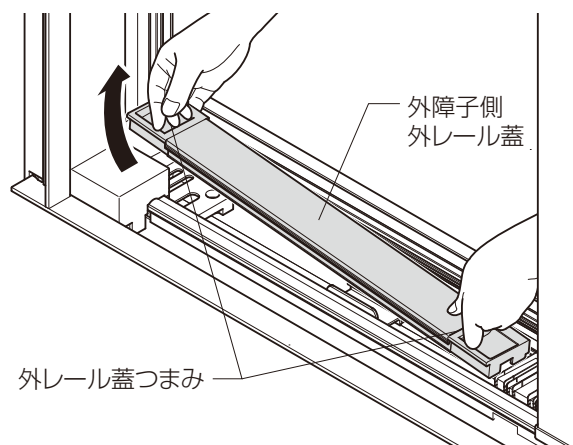
●無理に持ち上げるとつまみが破損したりキズの原因になります。上記方法にて外せない場合は無理に外そうとせず、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

③内障子側の内レール蓋を外障子側にずらして同様に外します。

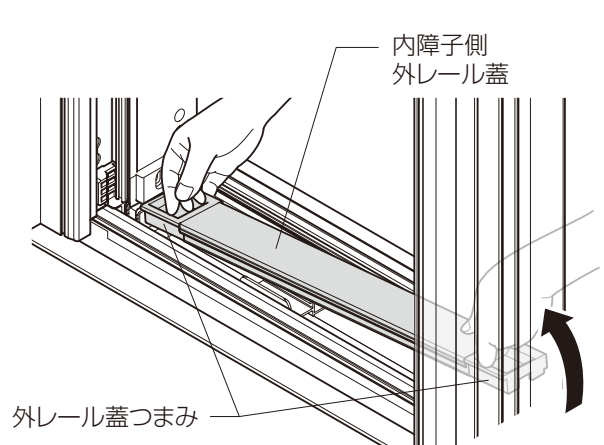


④図のように外レール蓋つまみを持って、上に持ち上げるように外してください。

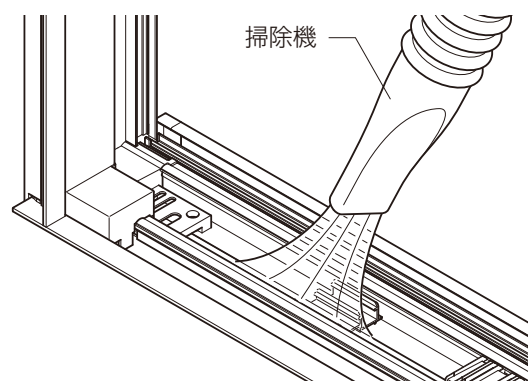
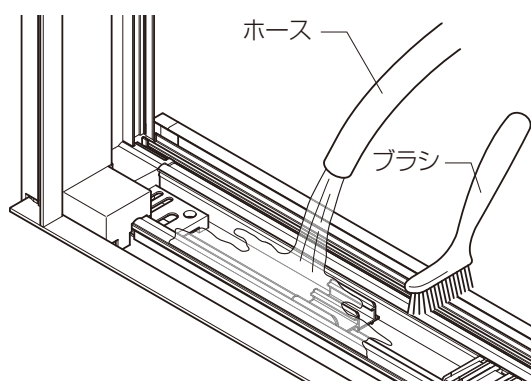
●外障子側の外レール蓋を外します。



●内障子を全開にして外レール蓋を外します。

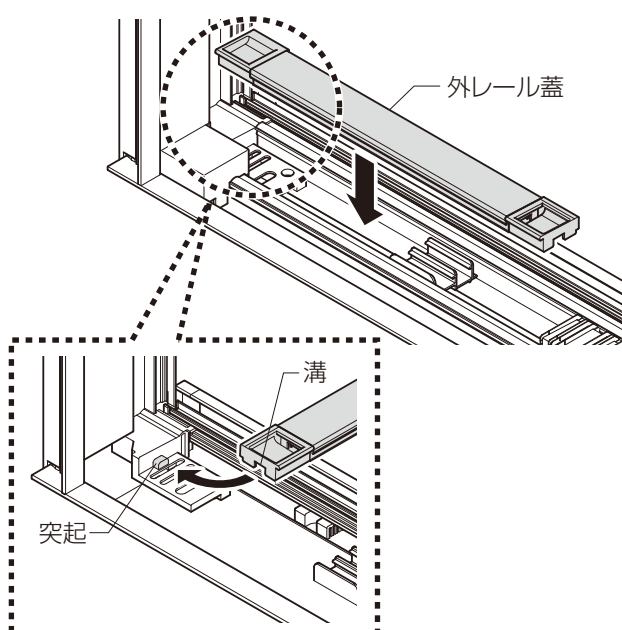
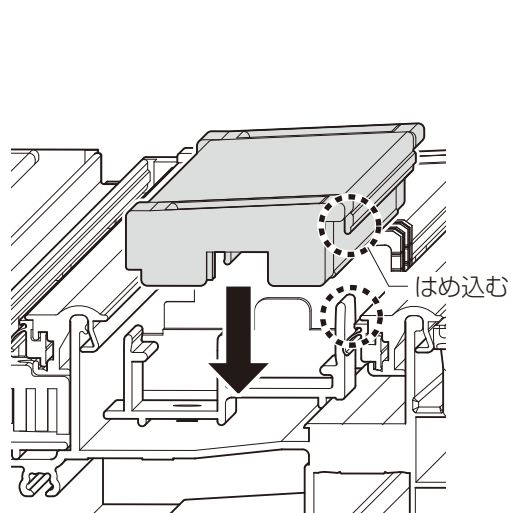


⑤水やブラシで洗い流すか、掃除機で吸込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。



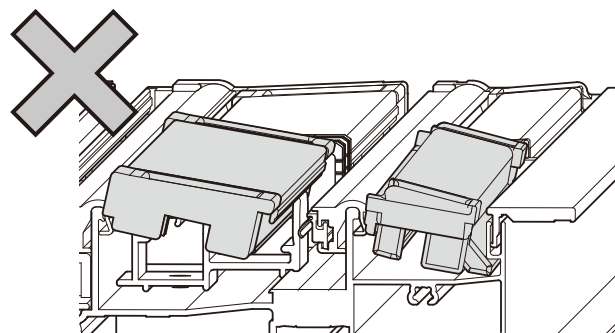
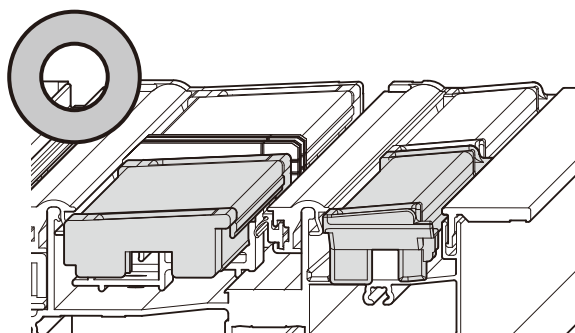
⑥外したレール蓋を外した手順と逆の手順で取付けてください。

・外レール蓋の向きを間違えないように取付けてください。



お願い

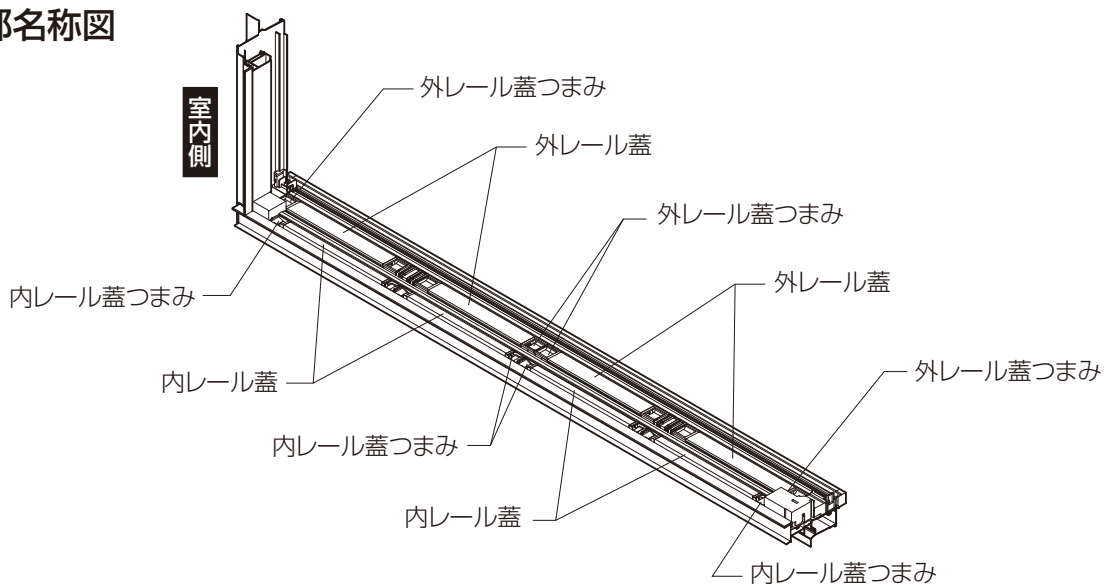
●レール蓋を取付ける際は、段差のないようにしてください。開閉時に支障がでます。



2

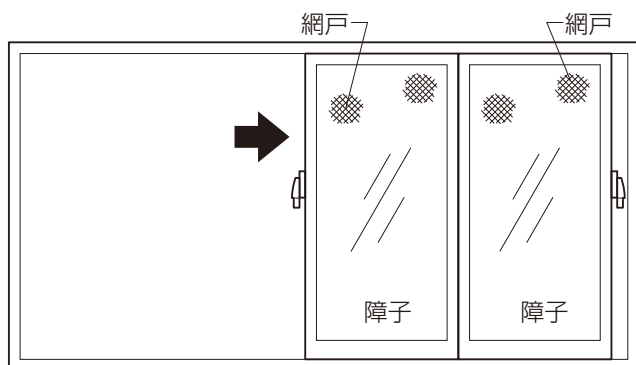
4枚戸の場合

■各部名称図



●2枚戸同様、内レール蓋・外レール蓋を外して清掃します。

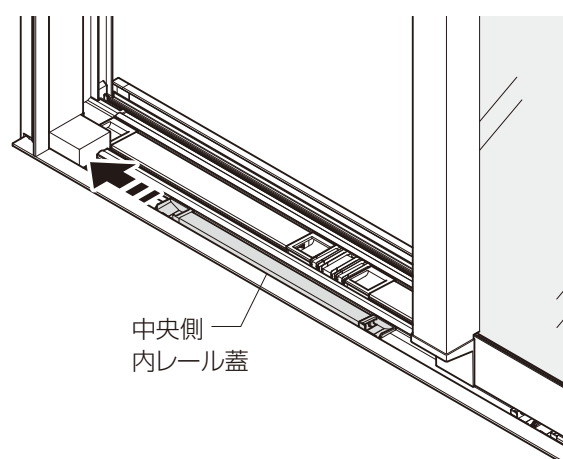
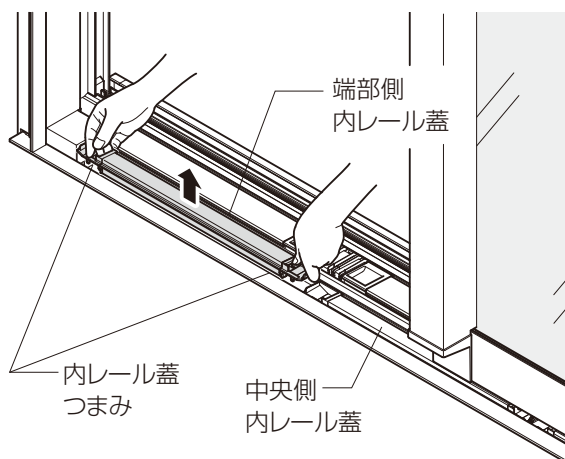
①障子をすべて片方に寄せてください。



②障子を開けた側の内レール蓋つまみを持って外してください。

●端部側の内レール蓋はそのまま上に持ち上げます。

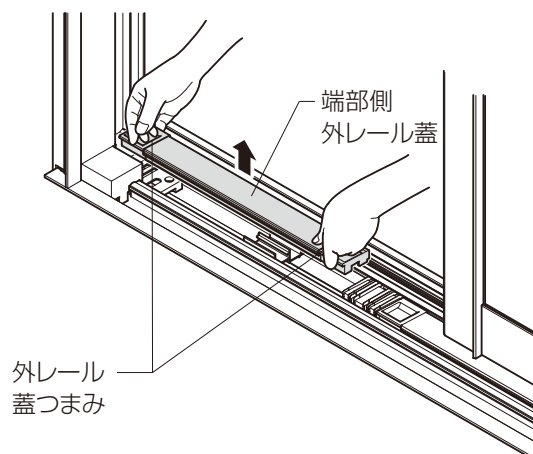
●中央側の内レール蓋は端部側にスライドさせて同様に外します。



⚠ 注意

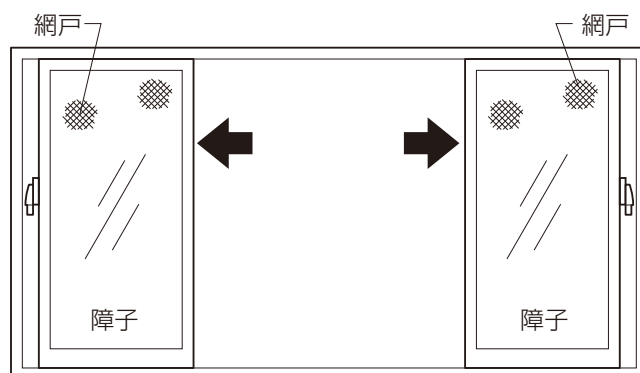
●アタッチメントのカドや下枠内部の部品に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

③端部側の外レール蓋つまみを持って上に持ち上げるようにして外してください。



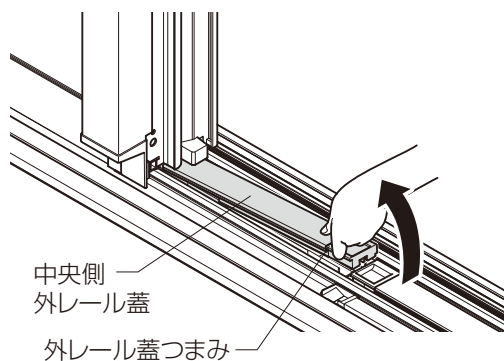
④もう片方の内レール蓋・外レール蓋も同様に外してください。

⑤中央(突合わせ部)の障子を全開にしてください。

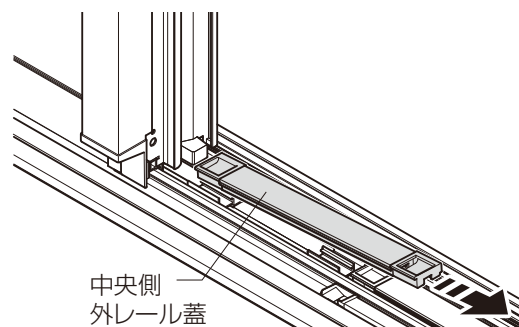


⑥図のように中央側の外レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながらスライドして外してください。

●外レール蓋を持ち上げます。



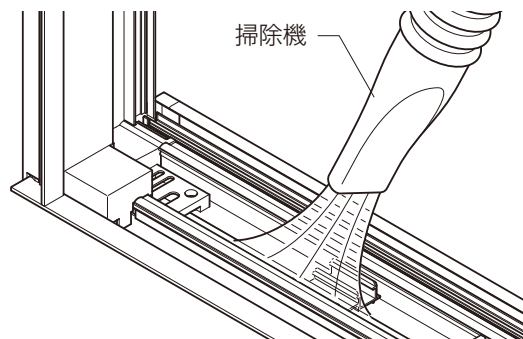
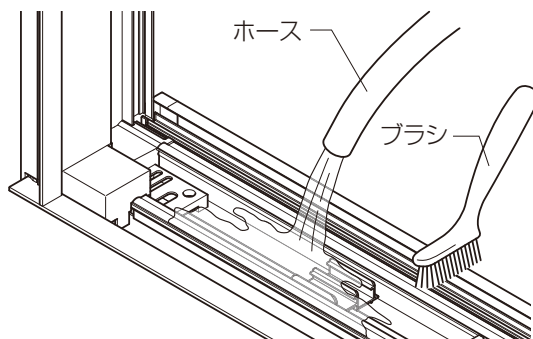
●スライドさせながら外します。



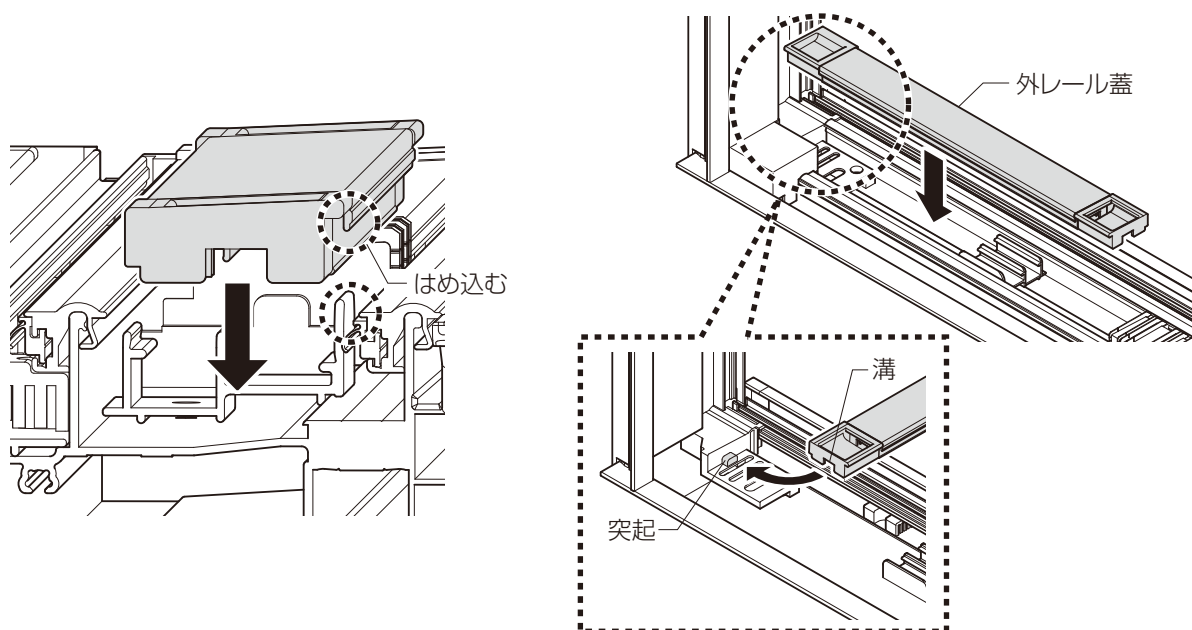
お願い

●無理に持ち上げるとつまみが破損したりキズの原因になります。上記方法にて外せない場合は無理に外そうとせず、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

⑦水やブラシで洗い流すか掃除機で吸い込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。

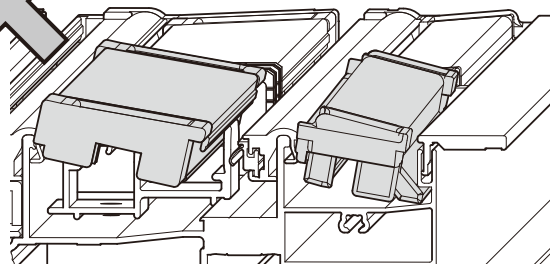
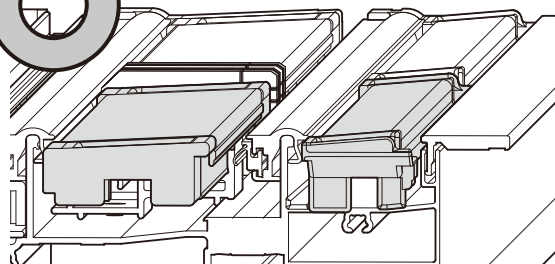
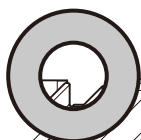


- ⑧外したレール蓋を外した手順と逆の手順で取付けて下さい。
・外レール蓋の向きを間違えないように取付けてください。



お願い

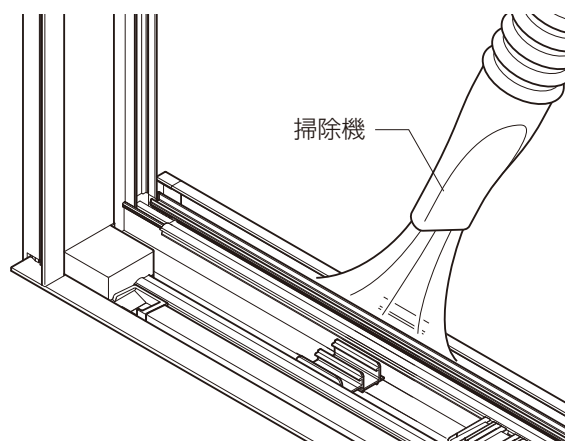
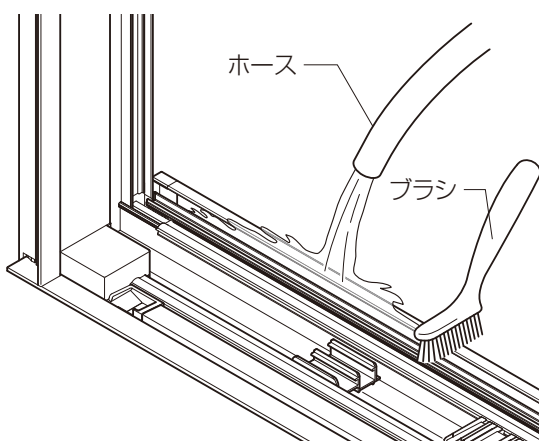
- レール蓋を取付ける際は、段差のないようにしてください。開閉時に支障がでます。



3

網戸レール、溝の場合

- ①網戸を取外します。
②水やブラシで洗い流すか、掃除機で吸込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。



- ③網戸を取付けてください。

サッシのお手入れ方法

定期的なお手入れが、長持ちのひけつです。

●LIXILの商品は、アルミニウムのほか、鋼板、樹脂、木などによって構成されています。いつまでも美しくお使いいただくためには、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

1

アルミ製品

■お掃除はなるべくマメに

- アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、それでも砂、ホコリ、塩分などがついたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受けて、腐食が発生する原因になります。

【お手入れ回数の最低限の目安】

お住まいの立地条件	お掃除回数
臨海工業地帯	1年に1～2回
海岸の近く、又は工業地帯	1年に1回程度
市街地	1年か2年に1回
田園地帯	2年に1回程度

■汚れが軽い場合

- 水に濡らしたぞうきんで汚れをふき取り、からぶきをします。



■汚れがひどい場合

- ①まず水で濡らしたぞうきんで全体をふき、表面についたホコリ、砂などを取除きます。
- ②特に汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、そのあと洗剤が残らないようによくふき取ってください。



- ③最後に全体をからぶきします

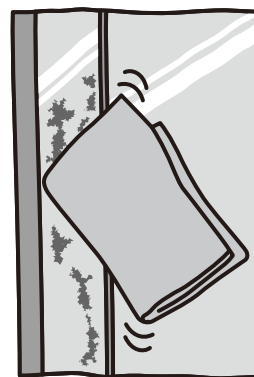
■金属タワシは使用しないでください

- アルミニウムの表面はキズ付きやすいので、お掃除の際には柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金べらはさけて下さい。又、洗剤は、必ず中性洗剤をご使用ください。中性洗剤では取れない場合は、アルコールかベンジンを布にしみこませてふいてください。他の有機溶剤は使用しないでください。



■万一、サビがでたときは

- サビに気づいたら、すぐにお手入れをしてください。まず中性洗剤をつけたナイロンタワシ、又は目のこまかい紙ヤスリで軽くこすり、サビや汚れを取除きます。そのあと水ぶきし、塗料のはげた部分にスプレー塗料を吹き付けてください。



※ツヤありのブロンズ・ホワイト以外の製品については、ワックスがけされないようお願いします。

2

樹脂製品

■お手入れはなるべくこまめに

- 樹脂は、アルミニウムなど他の材質と比べるとキズ付きやすい性質があります。レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、キズの原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

■お手入れは布やスポンジで

- キズをさけるため、布やスポンジのような柔らかいものを使い、金属ブラシや金ペラは使用しないようにしてください。

■ベンジンやシンナーはさけてください

- 樹脂は酸、アルカリに強い特性を持っていますが、ベンジン、ガソリン、エーテル、アセトン、シンナーなど有機溶剤は使用しないようにしてください。



■薬品に対して

- 塩素系薬品（次亜鉛素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）がサッシに付着したまま放置された場合、表面が変化することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。

■清掃の仕方

- ①表面についた砂やホコリをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
 - ②水でぬらしたぞうきんで、全体の汚れをふきとります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤、アルカリ性洗剤をうすめた液で落とし、そのあと水洗いします。
 - ③最後にかたくしぼったぞうきんで全体をふきます。
- ※洗剤で落ちない汚れやキズは、自動車用ワックスでみがくと取れます。

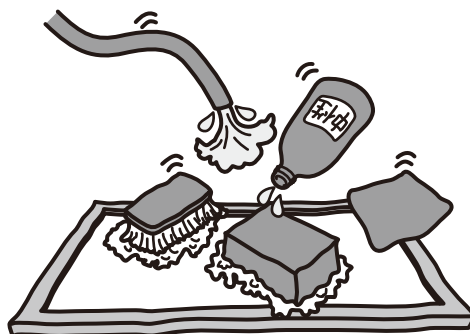


3

網戸

■必ず外して水洗いを

- 網戸をお掃除するときはレールから外し、網を張ってある側を下にして床に置き、柔らかいスポンジ、又はブラシなどで水洗いしてください。
- 網の張ってある側を上にしたり立てかけたまま洗うと、網が押されて、緩んだり破れるおそれがあります。
- 網戸の枠の部分は、アルミのお手入れと同じ要領で行ってください。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAN-128A	事業所コード BLF1	2021.12.1発行
---------------	-------------	-------------

